

こんぺいとう通信



教室のみなさん、こんにちは (^^)

朝夕は長袖の上着を一枚羽織りたい季節になりましたね。日中との寒暖差が大きいので、体調など崩さないようお気を付けくださいね。

さて最近、新聞やテレビのニュースなどで「スマートフォン」という言葉がよく聞かれます。教室でも何名かの方から「スマートフォン」って何ですか？とご質問を受けましたので、今回はそれについて少し書いてみようと思います。

スマートフォンというのは、一口に言うと「小型コンピュータに電話が合体したもの」です。代表的な製品として、アメリカはアップル社の「iPhone」があります。みなさんも名前ぐらい聞いたことがありますよね。

iPhoneの中には、アップル社が開発した「iOS (アイオーएस)」というソフトウェアが入っています。OSというのは「オペレーティング・システム」の略で、わかりやすく言うとパソコンの中に入っている「ウィンドウズ」のようなものです。

さて、少し前まではスマートフォンと言えばiPhone>だったのですが、そのiPhoneの後を追って続々製品化されているのが、「アンドロイド・ケータイ」と呼ばれる製品です。

アンドロイド端末の中には、グーグル社が開発した「アンドロイド」というOSが入っています。だからアンドロイド・ケータイと言うのです。そのままですね(笑)。

iPhoneは、アップル1社が開発から製品化まで手掛けているのに対し、アンドロイドの方はOSこそグーグルが開発していますが、製品自体は携帯電話メーカーが製造しています。日本では東芝やソ

ニー、カシオなどですね。

世の中は今、このスマートフォンが花盛りです。iPhoneの牙城をアンドロイドが追いかけているのですが、まだまだiPhoneが優勢です。そして、日本時間で10月5日の深夜2時に、アメリカで新型のiPhoneが発表されることになっています。これを書いている今から8時間後です。新しいiPhoneには、画期的な新機能が多数搭載されるということで、世界中の人が待ちわびているんですよ。

(※追記：結局、今回新型の「iPhone5」は発表されず、改良型の「iPhone4S」が発表されました。ちょっと残念！)

ちなみに、iPhoneから電話の機能を省いたものが、私が以前に書いた「アイポッド・タッチ」です。ですから、スマートフォンで何ができるのかということについては、今回は省略しますね。

最近、教室ではアイポッドやiPhone、iPad、そしてアンドロイド・ケータイをお持ちになる方が増えました。世の中的にも、普通の携帯電話の代わりにスマートフォンを購入する方が急増しているそうです。

私がパソコンを始めた二十数年前には、パソコンはごく一部の人だけのものだったのが、今では一家に1台と言っていいほど普及しました。

今街中で、そんなに機械モノには強くなさそうな女性や年配の方たちが、タッチスクリーンの大ぶりな画面を指でなぞっているのを見かけると、スマートフォンも当たり前の時代になりつつあるのだなあと実感します。そういえば、我が家の小学2年の子どもが、クリスマスにはiPadが欲しいと言っていたなあ。ブッ飛ばしておきましょうwww

